



日本建築協会 発刊 「建築と社会」2011.3月号に 弊社が施工しました JA鈴鹿 亀山支店様が 掲載されました。 (記事抜粋)



南面外観

JA鈴鹿 亀山支店

建築主 鈴鹿農業協同組合
設計監理 東畑建築事務所
施工 堀田建設

所在地 三重県亀山市東御幸町78-4
敷地面積 6,520.43㎡
建築面積 372.93㎡
延床面積 663.99㎡
構造規模 S造 2F
工期 2010年4月～2010年8月
最寄駅 JR関西線 亀山駅
撮影 エスエス名古屋

「JA鈴鹿(鈴鹿農業協同組合)」は組織基盤の拡充・強化、経営の健全化を目標に平成元年に鈴鹿市・亀山市・関町の2市1町の行政区におよぶ農協が広域合併し設立された。

今回の計画は現在、本店及び30支店ある建物のうちで、老朽化が進んでいる建物の建替え計画の一連である。「亀山支店」は旧組織時には亀山市の本店店舗として、多くの人が利用していたが、合併後は1支店として運営されるようになった。そこでその点を踏まえてこの地域のメイン店舗となる顔作りとコンパクトな施設作りを要求された。

外観は事務及び客溜りのな部分は光が入るようにカーテンウォール及びフロントサッシを、金融機関的な部分は極力開口部を設けないようにポツ窓とした。又アースカラーを基調とした外壁タイル及び木を感じさせる再生木ルーバーを採用し暖かみのあるファサードとし、従来より利用されている年配の方にも気兼ねなく利用出来る様な雰囲気づくりを目指した。

内部は「客」動線と「従業員・休日利用」動線を完全に分離したり、受付カウンターの幅を極力広くし、一方向だけに開放した形等で、「機能面」「防犯面」を考慮した計画とした。

(瓦田伸幸・北條壮史/東畑建築事務所)



客溜り



風除室